

# 木を切らず、機械も使わず 籐からつくる「エコ棺」で 新しい棺の可能性アピール

## 株シムビオシス

(兵庫県西宮市)

URL: <http://www.symbiosis-eco.jp/>

### 発想の源は 地球と人との“共生”

日本で棺の素材となる合板製材は以前、中国から原料を輸入していた。しかし、国内需要の増加や資源減少により、現在ではロシアから輸入している北洋材やインドネシア等の南洋材を中心に加工して使用しているという。

その一方で、年間114万人(08年)にのぼる死亡数は、2040年頃には年間166万人程度に増加すると見込まれている(日本の将来推計人口、06年12月推計)。棺の観点からみると、今後30年間に50万基を超える需要増が予想されることになる。これは地球環境の保護が重要テーマになっている現在、葬祭業界にとって大きな問題になる可能性がある。

そうしたなか、地球と人にやさしい籐棺「シムビオシス」を提案している会社がある。その社名も株シムビオシス(社長小林望氏)で、「共



籐にトウモロコシの葉を組み合わせたモデル

生」という意味。つまり、地球と人の“共生”を目指すエコ発想による棺というわけだ。

まず素材として使うのがエコマテリアルの籐で、3~5年で使用できるまでに成長する。そのため、森林を破壊することなく、繰り返し原料を得ることができる。また、製造方法もすべてがハンドメイドで、その過程で燃料を使うこともない。逆に、中国の職人による手づくりの温かみがあり、天然素材の質感とともに柔らかなイメージをつくり出している。

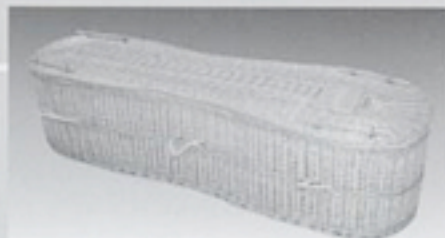
### 各葬儀社への直売方式で 本州なら翌日までに配達

同社では曲げやすい籐の性質を活かし、直線と曲線を組み合わせた形状や、素材に籐とトウモロコシの葉を組み合わせたものなど、現在は5タイプの「シムビオシス」を用意している。さらに子どもやペット用もあり、各タイプとも籐のつくる柔らかな曲線が心を癒してくれる。

販売方法は葬儀社への直売方式をとり、同社から注文先へ直送される。青森から鹿児島までの本州



小林望社長



ピンクに染めた籐で装飾された「シムビオシス」

エリアなら、17時までの注文で翌日配達が可能だ。また、北海道の場合は2日、沖縄本島なら3日の配送期間が必要になる。

価格は高級棺と比較すれば、安価である。ただ、この「シムビオシス」はエコ効果だけでなく、デザインや素材のもつ質感でも十分なアピール力をもつのが特徴だ。曲線による柔らかさや天然染料で染めた紐や布の装飾など、まさに“ゆりかご感覚”の棺といえる。

女性の葬儀や、近頃ふえている家族葬に、新たな棺としての提案も可能だろう。たとえば、色花をこの棺に入れれば、メルヘン的でかわいらしい演出効果も生まれる。

フェアでは、実物を見た来場者の反響が大きかった。そのため、8月の販売開始とともに、「本格的に営業活動を拡大していく」(小林社長)と、今後の方針を語った。

#### ■会社概要

所在地: 兵庫県西宮市江上町3-43  
セイフビル2階  
連絡先: 0798-38-3188  
設立: 2009年5月  
代表者: 小林望